



facebook

皆様からの「いいね!」を
お待ちしております

https://www.facebook.com/masato.kobayashi.9421



LINE 公式アカウント

LINE公式アカウントを
開設しました。
ぜひ、ご登録ください。



自民党 県議団

を代表して

予算決算常任委員会

予算総括的質疑

を行いました

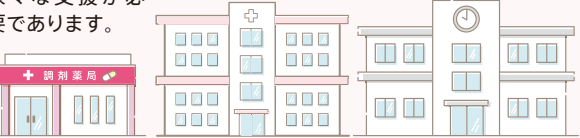
question
01

地域医療提供体制の確保/薬剤師支援のとりくみについて



昨今、地域包括ケアシステムを構築していく上で薬剤師の役割は増加傾向にあります。又薬局は医療保険制度を支える医療提供施設として調剤等により住民に医薬品や医療材料を円滑に提供することや、健康づくりやセルフメディケーションの拠点であり、健康サポートの薬局として地域医療に貢献するとともに、かかりつけ薬局・薬剤師の着実な推進、在宅医療への積極的な参画、認知症の早期発見、残薬対策を含む薬剤管理、ジェネリック医薬品の使用促進などに取組み、求められた役割を果たすとともに、患者の安全安心を確保するためには今後更に人材の確保や質の向上が求められています。

そのような中、第8次三重県医療計画では、一つ薬剤師確保計画の策定と実施、二つめとして災害時の災害事業コーディネーターの活用、三つめ在宅ニーズを踏まえた麻薬調剤・無菌製剤処理、小児への訪問薬剤管理指導、24時間対応等の訪問薬剤管理指導の体制構築等が規定されており、これらをしっかりと取り組むためには、病院、大学等関係機関との連携が、これまで以上に様々な支援が必要であります。



1 地域住民が薬剤師サービスを過不足なく享受できる体制整備づくりについて

改正薬機法(やっきほう)では行政と薬局が連携をし、地域に必要な医薬品を安定的に供給する旨が規定されました。このことを受け、薬局・薬剤師と県や市町が連携をし、各地域の人口構成に応じた薬剤師サービスのニーズを算出することや、各地域の医薬品提供体制のリソースを分析し、薬局の偏在や薬局へのアクセスが阻害されている地区(へき地や離島等)の情報を収集し、その対応を検討する必要があると考えますが現在または次年度以降その取組みはどのようにされていくのか?

2 在宅医療と小児薬物療法認定薬剤師について

近年在宅医療はニーズが増加してきた医療形態であることは言うまでもありません。しかしながら課題も多々あります。その一つは地方の薬剤師の絶対数が少なく、そもそも在宅医療薬剤師として訪れることが困難であります。二つめは在宅医療では、患者の体調急変に対応できるように24時間体制でのサポートが求められますが、現状は人手不足やコストの問題から深夜や早朝における薬剤提供体制は十分に構築できていないということ。三つめとして在宅医療での薬局情報が十分に把握されていないため、適切なサービスを受けるためどの薬局に依頼すればいいのか、どんな薬剤師が対応してくれるのか、不明確なケースが多いということ、四つめとしてはここ

が一番大切なところですが、専門的な知識を持つ薬剤師の雇用や数の確保、又そのためのコスト支援、更にはどんな場合でも薬を提供できるように無菌室の整備等、現状は整っていない等があります。以上のことから在宅医療における薬剤師の関りは大変重要であると思います。令和8年度はその体制整備をどのように考え、支援、取り組まれていくのか?お聞きいたします。

又専門知識の向上、あるいは小児在宅医療をしっかりと確立するためには、小児薬物療法認定薬剤師を確保することが必要でありこのことは小児医療全体の質の向上にもつながります。(ちなみに小児薬物療法認定薬剤師とは、小児科領域において医薬品に関わる専門的立場から医療チームの一員として、小児薬物療法に参画するための能力と適正を備え、更に患児とその保護者に対しても適切な助言および行動ができる薬剤師のことです。)この小児薬物療法認定薬剤師の必要性、又確保対策についてのご所見をお伺いいたします。

3 災害事業コーディネーターの活用と災害時や新興感染症等の拡大時における医薬品提供体制の維持について

昨今この災害事業コーディネーターの数が減少し、欠員補充のための新規養成研修やスキル向上のための研修の確保が必要だと考えます。現状の取組み状況についてと、今後の災害発生時や新興感染症等の感染拡大時には医薬品供給拠点の確保やその機能を有する薬局が必要だと思いますが、お考えをお伺いいたします。

▶▶▶ 答弁者 医療保険部長

question
02

第8次医療計画とりわけ 看護師確保と資質の向上について



この問題に関しては本章の中でもいくつか課題をあげていただいておりますが、特に医療・介護・福祉・保険を担う質の高い看護師を要請するため看護教育の充実をはかる必要がある、又看護師の離職防止のため、働きがいを感じながら、着実にキャリアを形成できるよう、職場における支援や研修体制の充実が必要、更には医療技術の高度化、患者の高齢化、在院日数の短縮化が進む中、患者本位の医療を実現するために、質の高い看護を提供できる人材の育成がもたらされる、このような課題に対する対応についてであります。

これらの課題解決に向けて令和7年度は様々な事業に取組んでいただきました。看護師確保対策に関する事業は主に人材確保対策、定着促進対策、資質向上対策、助産師確保事業の4つに分類をされ事業をくまれています。令和6年度と比較しますと全体総額で約2億6,600万円あったものが令和7年度は約1億9,900万円に減少しています。内容としては定着促進対策費で約6千万の減額、資質向上対策費で約500万の減、このあたりが大きく、8年度の取組みが気になるところであります。この減額の原因と次年度先におけた課題解決に向けた取組みをどのように考えられているのか?

再質問 この質の向上、それから働きがい、キャリアの形成といったところでありますが、急性期病院への配属、これは考え方によっては大変きつこともわかりませんが、有効だと考えます。通常だいたい新卒の看護師が配属されやすい部署で、その看護の内容ですが、変化する患者のバイタルサインや病状的確に把握し、迅速なアセスメントと対処がもとめられる、患者の全身状態を安定させるために多種多様なドレーンや点滴ライン等が挿入され、これらの観察管理を行う、さらに検査や処置の介助、術後の患者では創部管理、せんとう管理、人工呼吸器の管理も必要、又一般病棟と同様の看護もこれらに変わる等で多様な経験とスキルを積んでいく必要があります。

これら、より高度で専門的な看護を提供するためにはやはり資格取得(例えば認定看護師や専門看護師、又一時救命処置、二次心肺蘇生法、小児二次救命救急法、急性期ケア専門士や循環器専門ナース等)が有効であり、資質の向上にも大きくつながると考えます。このように急性期看護に配置された看護師の資格取得等に対する支援、補助についてどのように考えられているのか。 ▶▶▶ 答弁者 医療保険部長

question
03

健康づくりの 推進について

人生100年時代といわれておりますが、いまだ平均寿命と健康寿命の乖離が気になるところであります。ちなみに令和7年度健康寿命は男性が79.3歳、女性が81.4歳であり、この健康寿命を延ばすためにはフレイル予防が大切だといわれております。

今更ながらフレイルとは健康な状態と要介護状態の中間の段階を指し、大きく3つに分類されます。その一つが身体的フレイルで、運動器の障がいや移動機能が低下をしたり、筋肉が衰えたりするなどが代表的なものであります。二つめは精神・心理的フレイルであり、高齢になり定年退職やパートナーを失ったりすることで引き起こされるうつ状態や軽度の認知症の状態などをさします。三つめが社会的フレイルで加齢に伴って社会とのつながりが希薄化することで生じる独居や経済的困窮などを言います。またこれら3つのフレイルが連鎖することで自立度の低下が急速に進むと言われており、その予防、いわゆるフレイル予防の4つの柱ですが、運動、口腔、栄養、社会参加の取組を習慣化させることが大切であるとされております。そこでお聞きいたしますが、このフレイル予防、食生活の推進、それにともなう歯と口腔の健康づくり、更には生活習慣病に対する保健指導等、施策全体の予算としてのここ数年の推移、又次年度以降それぞれの分野でどのように取り組まれていくのか。



知事、執行部答弁内容につきましては三重県議会の中継録画からアクセスできます



三重県議会中継

検索

QRコードからも
アクセス可能!!

日々活動中!!

2025/12
2026/2

地域活動

PHOTO REPORT

群馬、埼玉県に歩行者安全対策等についての調査に



稲生地区敬老会にて



裏面もありません



地元鈴鹿の行事を中心に、三重県内全域の地域活動、また県外視察や意見交換など、議会以外でも様々な活動を行っております。今後もできる限り県所管の問題に限らず、全ての課題早期解決に向けて最大限尽力してまいりますので、今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。



最新の情報はこちらをチェック!
<https://www.facebook.com/masato.kobayashi.9421>



第36回ふれあい広場鈴鹿にも参加



毎年恒例福祉の森まつりにて



第61回三重県私学大会に参加



鈴鹿ミ防災まつりにて



神戸地区スポレクにて



三重県生活衛生同業組合連合会表彰式典に出席



第14回地域交流グランドゴルフ大会に参加



花とみどりの植樹活動にて



稲生地区秋の収穫祭に参加



鈴鹿建設関連産業懇話会にて



三重県身体障害者福祉大会に出席



介護事業所連盟の皆さんとの勉強会並びに意見交換



三重県議会インドネシア友好議員連盟副会長として



自民党県議団、8年度予算について知事に要望



鈴鹿主要3河川建設事務所要望活動



各市町から道路・河川等整備促進の要望聴き取り



地元私立保育園意見交換並びに懇談会



毎年恒例消防団年末夜警激励に



年末恒例神戸神社にて



年始地元三宅神社元旦新嘗祭



商工会議所賀詞交歓会にて



令和8年鈴鹿市消防出初式にて



鈴鹿二十歳の集いに参加



自然農法・統合医療についての県外調査

